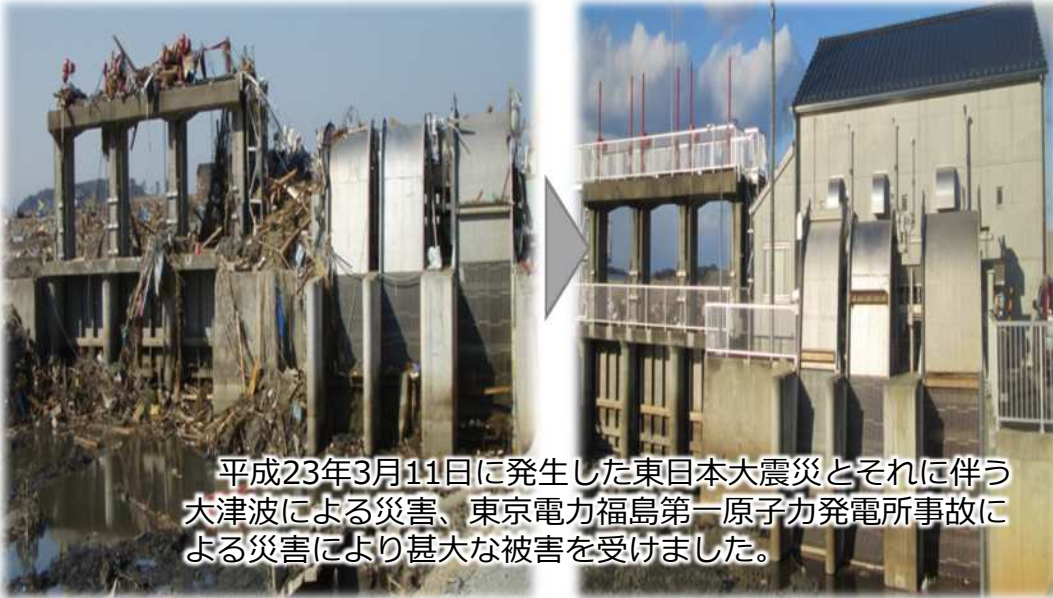


# 福島県相双地方・農林業の現状と取組

令和6年3月14日  
相双農林事務所



平成23年3月11日に発生した東日本大震災とそれに伴う大津波による災害、東京電力福島第一原子力発電所事故による災害により甚大な被害を受けました。



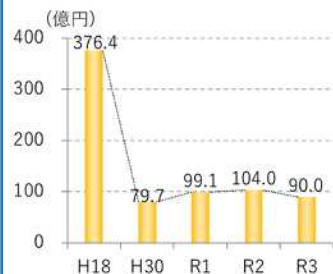
相双地方ならではの農林業の再生を目指して

- 1) 東日本大震災及び原子力災害からの復興
- 2) 持続的な発展を支える生産基盤の整備と担い手の確保
- 3) 地域の特性をいかした産地づくり
- 4) 地域の特性をいかした農山漁村の形成を優先に復興を推進しています。

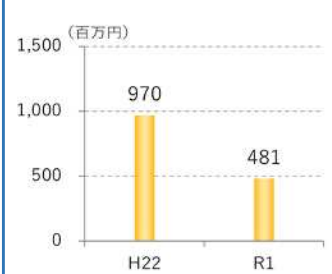


# 相双地方の農林業の概況

## 1 農業産出額



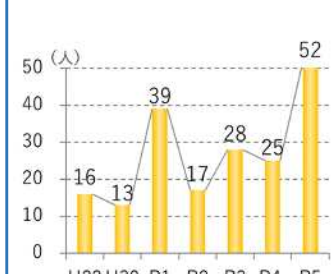
## 2 林業生産額



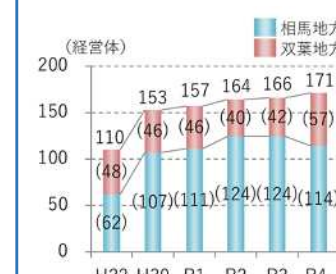
## 3 営農再開面積率



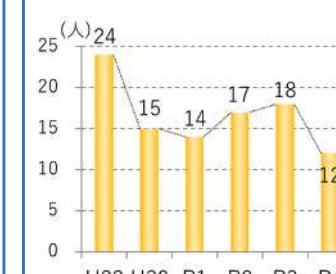
## 4 新規就農者数



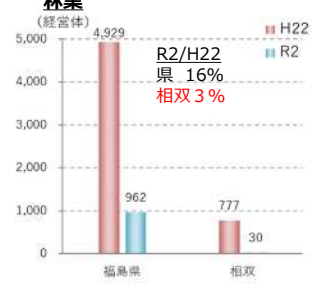
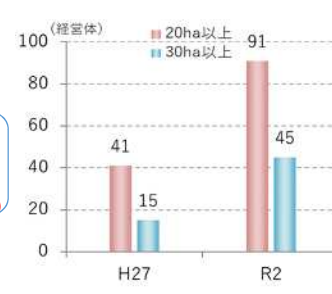
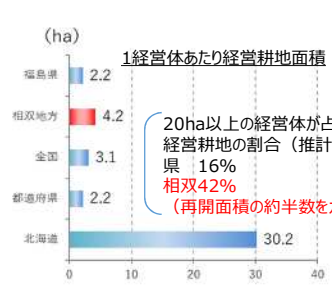
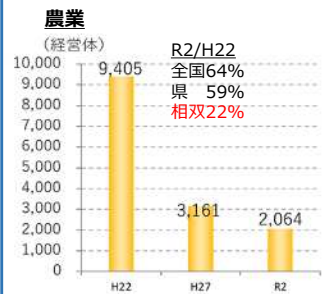
## 5 農業法人数



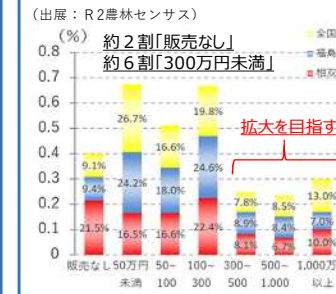
## 6 新規林業就業者数



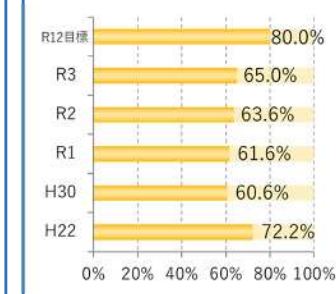
## 7 相双地方の農林業経営体における規模等



## 8 農家所得額



## 9 ほ場整備率



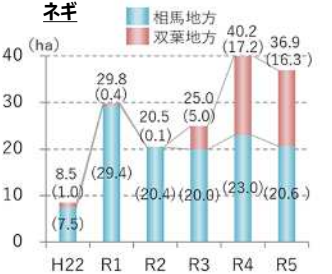
## 10 水稲作付面積



## 11 大豆作付面積



## 12 主な野菜・果樹の作付面積



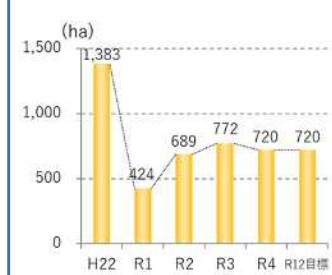
## 13 花きの作付面積



## 14 畜産 (牛の飼養頭数)



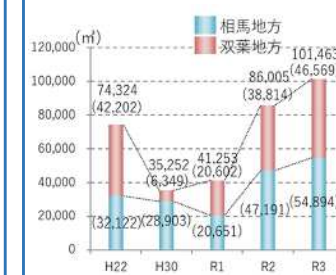
## 15 森林整備面積



## 16 主要林産物出荷量



## 17 木材素材生産量



# 福島県相双農林事務所 「相双地方ならではの農林水産業の再生を目指して～復興推進～」



農山村地域復興基盤総合整備事業  
矢川原地区 (南相馬市)

バックご飯製造工場 (檜葉町)

地域計画策定座談会 (富岡町)

福島再生加速化交付金  
肥育素牛施設 (葛尾村)

福島再生加速化交付金  
タマネギ乾燥貯蔵施設 (富岡町)

ふくしま森林再生事業  
(南相馬市)

海岸防災林 (相馬地区  
(相馬市))

## 農林水産業振興計画の基本目標

「もうかる」「誇れる」共に創るふくしまの農林水産業と農山漁村

農業産出額(県目標)  
2,400億円

## 相双重点活動によるR5年度実績

①営農再開率48.6 (54) % ②新規就農者数52 (38) 人以上/年 ③ほ場整備率71.0 (70.5) % ④森林整備面積575 (585) ha/年  
( )はR5目標値

農業産出額(相双目標)  
200億円  
農業産出額(相双)  
R4 : 94億円

### 振興方向

#### I 東日本大震災及び原子力災害からの復興

- ① 避難指示解除や特定復興再生拠点区域等の整備の進捗に応じた農地・農林業施設の復旧
- ② 地域営農再開ビジョンの策定、地域の状況に応じた営農体制の構築、農林業の再開拡大を目指す方の施設整備の支援
- ③ 沿岸部の農地等を守る海岸防災林整備や、きのこ原木林再生に向け調査を踏まえた広葉樹林の更新などによる素材生産の拡大等を支援

#### III 地域の特性をいかした産地づくり

- ① 経営体に応じたスマート農林業や省力化技術の導入、経営規模拡大に対応する生産体系の導入、GAPの認証取得の推進等により収益性の高い農林業の実現
- ② 既存産地の復興と新たな産地形成、さらには、販売先を踏まえ市町村域を超えた広域的な生産・出荷体制の構築など、特色ある産地づくりを推進
- ③ 除染後農地の土づくりを進める中、大規模畜産施設整備に伴い地域資源を活用した耕畜連携を推進
- ④ 集成材等の製品製造拠点整備や木質バイオマス資源を利用する施設整備への支援を通し、地元産はもとより、県産材の利用や木材の需要拡大を推進

#### II 持続的な発展を支える生産基盤の整備と担い手確保

- ① 担い手の営農条件を改善するため、ほ場整備による農地の大区画化及び農業用施設の整備等を推進
- ② 農用地利用改善団体の設立や人・農地プランの策定とその実現に向け、市町村等の取組を支援し、県内外からの多様な担い手の確保・育成と、農地の集積を推進
- ③ 市町村等と連携し、農林業の新規就業者等の定着や経営の体質強化に向けた取組と将来の就業につなげるための体験学習等を推進
- ④ 効率的な森林整備及び素材の生産拡大に必要な林業就業者の確保・育成を図るとともに、高性能林業機械の導入や林道等の路網整備を促進

#### IV 地域の特性をいかした農山漁村の形成

- ① 放射性物質対策と一体的に行う森林整備や、素材の生産拡大対策を推進
- ② 農業用ため池等の防災・減災対策や治山施設の整備による国土強靱化
- ③ 農林業・農山漁村の活性化を図るため、関係機関と連携した地域ぐるみによる鳥獣被害対策や、多面的機能支払制度等を活用した集落機能回復を推進
- ④ 食育活動による農山漁村への理解醸成、地域産業6次化の推進による販路の開拓の支援

# 1 具体的な取組の実績と成果

## I 東日本大震災及び原子力災害からの復興

着実な施設復旧と  
営農再開率の拡大

- 津波被害からの農業再生に向け、新たな農業の展開を実現する農地の大区画化、用排水路、農道等を一体的に整備  
●**整備地区数・営農再開可能面積 13地区・1,483ha(面積ベース89%)**
- 農地・用排水路・ため池等の復旧  
●**復旧率 97%(箇所数ベース)**  
内訳:完了852箇所、工事中8箇所、未着手18箇所
- 福島県営農再開支援事業により段階に応じ着実な営農再開を支援  
●【R5計画】26.5億円 **【R5実績】22.1億円**

- 治山施設・林地(山腹崩壊等)及び林道施設の復旧  
●**復旧率 100%(R4.3末)で完了(43箇所)**
- 沿岸部の農地等を守るため、これまでの飛砂、風害潮害防備などの災害防止機能に加え、津波対策として林帯巾を200mに拡大し海岸防災林を整備  
●**着手地区数 8地区・593ha(事業費ベース進捗率98.5%)**
- ほだ木等原木林の再生に必要な伐採、植栽、下刈り、作業道設置の一体的な実施(広葉樹林再生事業)を推進  
●取組町村:新地町(R6~R7)飯館村(R5~R7)、取組面積約2.4ha(全体計画184ha)

## II 持続的な発展を支える生産基盤の整備と担い手確保

生産性向上による  
大規模経営体の増加

- 復興基盤総合整備事業等により57地区(4,506ha)でほ場整備を推進し、経営体の生産性向上や規模拡大等を支援  
●水稲の大区画化等に加え、**園芸作物等の大規模経営を支える畑地化**、新たに**双葉郡(浪江町、双葉町)で取組の検討を開始**  
●**着手済:41地区(3,506ha)、計画中・検討中:7地区(481ha)・9地区(518ha)**  
(うち完了8地区・1,031ha、左のうちR5完了3地区・838.1ha)
- 集落営農の確立やもうかる農業に向け、地域特性を生かした品目・営農形態の導入等の「話し合い」「意向調査」「担い手の明確化」「新技術導入」「農地中間管理事業の活用推進」等による、地域計画の作成を推進  
●**地域計画策定 【R5着手】 【全体地区数】**  
相馬地方 **60地区** 62地区  
双葉地方 **49地区** 50地区  
●**機構新規転貸面積 新規771.9ha/全体2,436ha(県活用の約3割)**

### IIの強化対策「未来へつなぐ生産基盤づくり」の推進

- 省力化、高収益化等を追求する生産基盤づくりに向け、県・市町村・関係団体と計画策定に向けた検討会等の開催 **【R5実績】(全体会は3回)**  
〔未来へつなぐ生産基盤づくり計画項目〕  
①人づくり(地域計画の策定)②基盤づくり(高い生産性や省力化を実現するほ場整備)  
③ものづくり(作付計画、省力化技術の導入)④到達目標(所得額、担い手面積集積率)

- 相馬地方の魅力発信し、復興・創生を支える多様な担い手を県内外から確保  
●**農業研修(1日~2週間)受入農家件数25件・研修実施19名**  
●**教育機関と連携(農業短大他)による就農相談会4回**  
●**就農フェア出展3回・8ブース、59名相談対応**等
- 認定後5年目の認定農業者に対する経営改善達成状況(所得目標の8割達成)  
●**相馬54件(うち達成者17件)、双葉17件(うち達成者1件)**  
参考:法人件数180件(H23:98件)  
●**新たな品目・技術導入やコスト縮減対策を提案し、「水稲+大豆+苺」等の大規模複合経営モデルや「大規模稲作経営」を創出**

## III 地域の特性をいかした産地づくり

スマート農業取組者拡大  
新たな産地形成

- 営農再開の推進と併せ革新技術実証(7件)の取組や機械・施設整備等による大規模化・複合(品目)化を支援し、作付面積の拡大を推進  
●**水稲【H22:12,745ha → R5:7,568ha】**  
●**水稲直播栽培の推進【H22:167ha → R5:909ha】**  
(相馬地域の直播栽培面積は震災前の約6倍の738ha)  
●**大豆【H22:789ha → R5:529ha】**(相馬では震災前の約75%)  
●**土地利用型園芸作物**  
タマネギ **【H22: - → R5: 43.7ha】**  
ブロッコリー **【H22: 145ha → R5: 115.4ha】**  
ネギ **【H22: 8.5ha → R5: 36.9ha】**
- 有利販売や加工用途の生産・販売に向け、生産技術体系の確立や流通・加工施設整備を支援  
●**効率的な作業や安定した収量確保を実現する「団地・大区画ほ場整備」提案**  
●**加工業務向け農産物生産に特化した生産を担う「法人参入」支援**  
●**相馬地方ならではの「経営類型(収支)」の策定**  
●**福島再生加速化交付金等を活用し、農林業施設等整備支援**  
**170億円(包装米飯加工工場、タマネギ乾燥調整施設、大規模畜産施設整備等)**
- 耕畜連携の推進に向け、「**双葉地方飼料生産・堆肥利用推進検討会議**」を設立

## IV 地域の特性をいかした農山漁村の形成

計画的な森林整備  
素材生産量の増加

- 「ふくしま森林再生事業」活用による計画的な森林整備による森林の再生と「森林経営計画」策定支援  
●**【R5実績】475ha・累計:3,706ha(うち県営374ha)**  
(民有林・人工林に対する事業実施割合は約1割、森林経営計画は同4%)
- 管内製材加工業者、林業経営体等と需要量や品質に関する情報交換への支援  
●**素材生産量は県全体の約1割を占める101千㎡で震災前比較では136%**
- 森林施業に要する「林道」、「林業専用道」及び「森林作業道」の整備推進  
●**【R5実績】45,069m**
- 森林環境交付金事業活用による森林適正管理の推進や森林環境学習の支援  
●**【R5実績】森林適正管理9市町村、森林環境学習12市町村**

## 2 福島県総合計画等に基づく指標と達成状況【数値目標】

指標名	R12目標値	R5目標値	R5実績	備考
営農再開率	75%以上	54%	48.6%	
新規就農者数	66人以上/年	38人	52人	
ほ場整備率	80%以上	70.5%	71.0%	
森林整備面積	720ha以上/年	585ha	575ha	

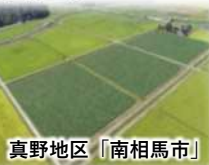
# 相双地方の農林業の復興

## Ⅱ 持続的な発展を支える生産基盤の整備と担い手確保

### (1) ほ場整備の推進

復興基盤総合整備事業等により57地区(4532ha)でほ場整備を推進し、経営体の生産性向上や規模拡大等を支援

<b>着手済</b>	【R5実績】	<b>41地区3,506ha</b>	【R6計画】	42地区3,649ha
うち完了		8地区 1,031ha		14地区 1,669ha
調査計画中		7地区 508ha		8地区 578ha
検討中		9地区 518ha		8地区 448ha
権利者会議		3地区 48.1ha		7地区 650ha



真野地区「南相馬市」

### (2) 相双地方・未来へ向けた生産基盤づくりの推進

集落営農の確立やもうかる農業に向け、地域特性を生かした品目・営農形態の導入等の「話し合い」「意向調査」「担い手の明確化」「新技術導入」「農地中間管理事業の活用推進」等による、人・農地プランの策定を推進

(未来へつなぐ生産基盤づくり計画項目)

- ①人づくり(地域計画の策定)
- ②基盤づくり(高い生産性や省力化を実現するほ場整備)
- ③ものづくり(経営体の作付計画、省力化技術の導入)
- ④到達目標(所得額、担い手面積集積率)

- 提案・全体検討会**【R5実績】3回 【R6計画】3回  
(相馬地方成果例:南相馬市小屋木、山下で畑地化検討)  
(双葉地方成果例:浪江町11行政区、双葉町下羽鳥検討開始)

- 地域計画策定** 【R5実績】 【R6計画】

相馬地方	<b>0地区 / 40地区 / 107地区</b>	60地区 / 60*地区
双葉地方	<b>5地区 / 7地区 / 90地区</b>	50地区 / 55*地区

※分母数の変更は地域見直しによるもの



第1回提案・検討会



全体会後の各地区検討  
下羽鳥地区座談会  
(双葉町)

### (3) 新規就農者等の多様な担い手の確保

相双地方新規就農者・企業参入推進検討会議(事業)の推進【R4:新規就農25名】

- HP「相双地域就農支援ポータル」による情報発信、就農フェア出展

【R5実績】3回・8ブース、12組相談  
【R6計画】3回(東京、新・農業人フェア)

- 研修受入体制整備(1日～2週間)

【R5実績】農業法人等25件・受入16名延べ16回参加  
【R6計画】6月～2月(短期1日～、中期2週間)

- 短大学生等向け農業法人等視察相談会

【R5実績】短大1年生59名(R5.9.15・作物・花き、野菜、果樹、畜産コース) 別に高校生いる  
【R6計画】短大1年生、農業高校2年生対象

- 法人向け雇用スキル向上研修(人材定着促進)

【R5実績】2回(相馬、双葉)  
【R6計画】3回、雇用就農を促進・定着のための法人を対象としたアンケート(参考:法人数171件)

- 就農相談会

【R5実績】法人相談ブース 等  
【R6計画】法人相談ブース 等



就農フェア出展



法人等視察相談会

## Ⅲ 地域の特性をいかした産地づくり

### (1) 土地利用型作物の作付推進と生産安定対策

**水稻直播栽培の推進**【H22:167ha → R5:966ha】  
【R5実績】

- 相馬地方の直播栽培面積は震災前の約6倍の795ha
  - 双葉地方では、川内村、檜葉町、浪江町で導入
- 【R6計画】
- 乾田直播栽培検討会の開催
- (参考)水稻面積【H22:12,803ha → R5:7,767ha】  
相馬は震災前75%の6,368ha、双葉は同31%の1,199ha

**大豆栽培の推進**【H22:789ha → R4:420ha】

- 相馬地方の大豆栽培面積は、震災前の約70%
- 新品種「里のほほえみ」の作付拡大  
(H29:7ha→R4:270ha)

### 土地利用型園芸作物の推進

- ①**苺** 【H22:—ha → R5:43.7ha、単収1.2t】
- ②**ブルーベリー** 【H22:145ha → R5:115.4ha、単収0.3t】
- ③**柿** 【H22:8.5ha → R5:36.9ha、単収1.6t】

【R5実績】

- 機械化体系による大規模実証

【R6計画】

- 各ほ場の低収要因把握と対策指導
- 作業効率の高いほ場確保の促進と作付推進
- 機械化体系による大規模実証(継続)



### (3) 農業等施設等の整備

福島再生加速化交付金等を活用し、農林業施設の整備や農業機械等の導入を支援

【R5主な実績】

- 穀類乾燥調製施設整備・相馬市(竣工・稼働)
- 園芸集出荷施設設計・南相馬市
- 包装米飯加工工場整備・檜葉町(竣工・稼働)
- 苺 乾燥貯蔵施設整備・富岡町(竣工)
- 復興牧場整備・浪江町(竣工)
- 大規模畜産施設整備・葛尾村(竣工・稼働)

【R6主な計画】

- 園芸作物集出荷調製施設整備・南相馬市
- 機械格納庫3棟設計・整備・南相馬市
- 園芸施設整備・南相馬市
- 複合園芸施設整備・南相馬市
- 大規模畜産施設整備・浪江町



穀類乾燥調製施設  
(相馬市)

タマネギ乾燥画像施設整備  
(富岡町)

安定した需要が見込める加工等の生産・販売に向け、実需者とのマッチング支援や生産技術体系確立を推進

- 効率的な作業等を実現する団地形成の提案
- 加工業務向け生産に特化した法人参入支援
- 相双ならではの経営類型(収支)の策定 等

### (2) 耕畜連携の推進

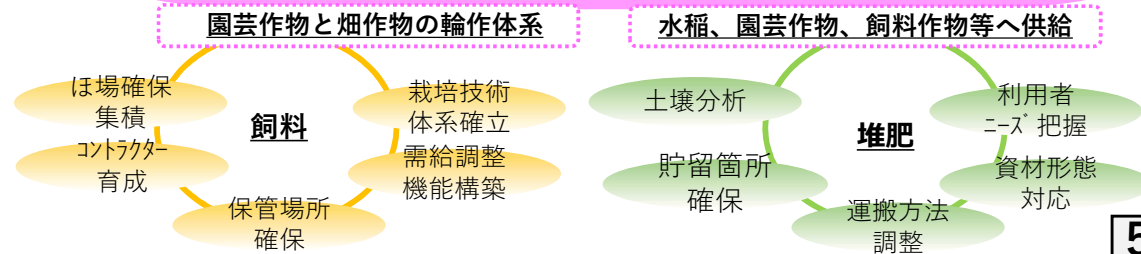
【R5実績】

- 「**双葉地域飼料生産・堆肥利用推進検討会議**」を設立し8.31 地域内の取組の推進と諸調整(3回開催)
- 子実用トウモロコシ栽培実証を設置し、技術・経営の見える化**

【R6計画】

- 園芸品目等との輪作実証**
- 飼料生産と堆肥利用に係るマッチングや飼料生産ほ場のマップ化と安全確認**

## 大規模畜産と連携した循環型農畜産業に必要な取組



# 相双地方の農林業の復興

## IV 地域の特性をいかした農山漁村の形成

### (1) 森林の再生

ふくしま森林再生事業①事前調査(全体計画、同意取得、年度別計画)  
②森林、路網整備③放射性物質拡散防止対策(木柵等)で森林の再生  
(市町村に対しては対象森林の選定や森林施業に関する技術的な支援)

【R5実績】497ha

R5まで3,729ha(うち県営374ha)

相馬、南相馬、新地、飯館、  
広野、檜葉、富岡、川内、浪江、葛尾

【R6計画】633ha(うち県営75ha)



丸太筋工  
(放射性物質拡散防止対策)

森林経営計画の策定支援

【現 状】森林経営計画策定4件

【R6計画】森林経営計画策定4件

●森林面積 115,830ha  
森林内訳 国有林 55,915ha  
          民有林 59,915ha  
民有林内訳 天然林 29,359ha  
          人工林 29,124ha  
森林経営計画策定面積 1,117ha  
(民有林-人工林面積対比4%)

里山再生事業の取組支援

(里山再生モデル事業(H29~R1)  
の後継事業)

●関係省庁連携の下、日常的に人が立ち入る里山の再生に向けた取組として、除染、森林整備、線量測定を実施  
(檜葉町、富岡町、大熊町、浪江町、飯館村が選定)

発電施設施設の整備と木材供給への支援



木質バイオマス発電施設  
「飯館みらい発電所」

●事業主体：飯館村  
●管理運営：飯館村バイオパートナーズ

### (2) 治山対策

治山施設整備による国土強靱化

【R5実績】8地区(うち繰越3地区)

【R6計画】9地区(うち繰越5地区)



南川原地区(南相馬市)

### (3) 森林環境基金による適正管理や環境学習支援

森林適正管理9市町村、森林環境学習12市町村

【R5実績】

森林適正管理:

森林情報を集積し、リアルタイムで情報の共有・活用を行う森林クラウドシステムの利用

森林環境学習:

小中学校33校、幼稚園1園で木工や自然観察会を実施



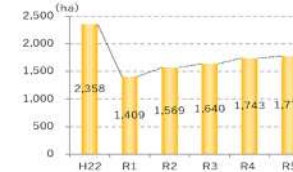
森林クラウドシステム

木工教室(南相馬市)

### (4) 農業・農村環境の維持

中山間地域等直接支払交付金

【R5実績】1,777ha・7市町村  
(前年より34ha増)



多面的機能支払交付金

【R5実績】10,301ha・10市町村  
(前年より280ha増)



保全活動

植栽活動

### (5) 防災重点農業用ため池防災工事等の取組

農業用ため池の防災・減災対策の推進  
(指定ため池:361箇所)

- ハザードマップ作成(対象:350箇所)  
【R5実績】着手済350箇所(進捗100%)
- 劣化状況調査・豪雨耐性評価(対象:338箇所)  
【R5実績】着手済338箇所(進捗100%)
- 地震耐性評価(対象:344箇所)  
【R5実績】着手済286箇所(進捗83%)
- 防災工事(対象:18箇所)  
【R5実績】1箇所 【R6計画】1箇所



ため池廃止工事



劣化状況調査

### (6) 安全・安心の取組

県産農林産物の安全・安心に対する信頼回復に向けた取組



安全な農林水産物を消費者へ

米の全量全袋検査(12月末)  
【R5実績】78,423点  
野菜等のモニタリング検査  
【R5実績】687点  
県産材(製品材)の表面放射線量測定【R5実績】60検体

### (8) 地産地消の推進

相双地方産農林水産物の魅力をPR

- 農産物収穫体験等を行うバスツアーを実施  
【R5実績】2回(相馬市・南相馬市、檜葉町)  
【R6計画】2回(相馬地方・双葉地方)

地域の食文化理解等を図る食育の推進

- 小学生等を対象とした調理実習等の食育活動を支援  
【R5実績】15団体(27回) 【R6計画】15団体(20回程度)



ネギ収穫体験

### (7) 風評の払拭

県産農林水産物の消費拡大の推進

- 「おいしいふくしまいただきます! 農家民宿におけるキャンペーン」開催  
【R5実績】4回 【R6計画】4回
- 生産団体等が実施するPR活動を支援  
【R5実績】8団体 【R6計画】8団体



農家民宿における  
キャンペーンにおいて  
南相馬市産米  
プレゼント

### (9) 地域産業6次化の推進

6次化商品の販売機会の創出

- 南相馬合庁職員等を対象に6次化商品注文販売会を開催  
【R5実績】2回 【R6計画】2回

地域の6次化を担う人材の育成

- 6次化に関する知識及び技術の習得や6次化に取り組む事業者間の交流を目的に「そうそう・6次化ラボ」事業を実施  
【R5実績】3事業者 【R6計画】3事業者程度



6次化ラボ

6次化商品  
注文販売会